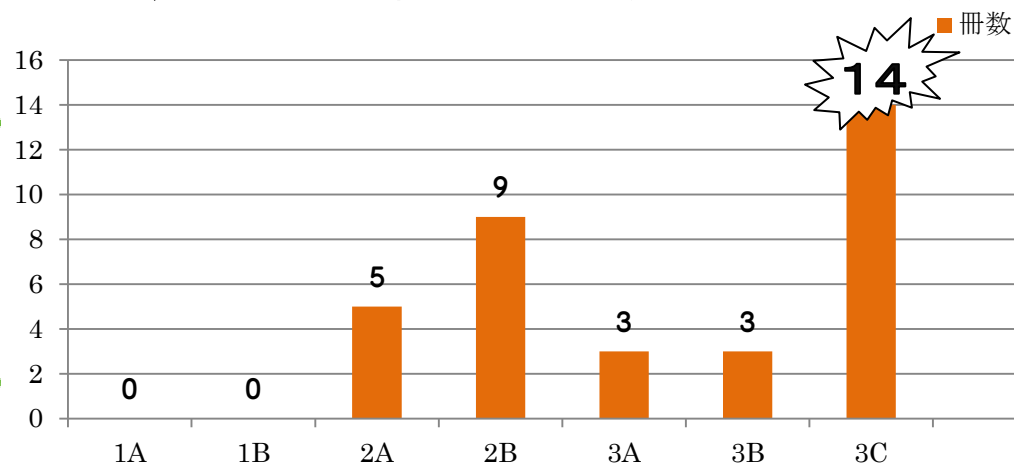


現在読書週間です！！ ~11/9まで

先生&生徒からのリクエスト  
近日入荷予定BOOK!

クラス別館外利用貸出冊数 (H25.9.10~10.24)



読書の秋、皆さんいかがお過ごしでしょうか。さて、図書館では、読書の秋に皆さんがどのくらい読書をしているかを調査しました。その結果、トップは3Cの14冊でした。クラスごとの館外貸出冊数(本を借りる手続きをした人)は、全く読まないクラスから、クラスの中で〇〇さんだけが沢山読んでいる!...などの理由で上記通りの結果でした。

また、館内利用者数では**昼休み平均 14.8人、放課後平均 3.5人**でした。もともと本好きな生徒が多く、新刊が入った時はもちろん、何もしなくても図書館はいつも賑わっていました。図書館の利用も多いですが、書店や公共図書館で本を読む生徒もいるようです。

図書館からの重要なお願い

本を返してください  
あなたが持っているその本を  
とてもとても持っている人がいます  
人として  
借りたものは必ず返しましょう



「バッテリー」 あさのあつこ 著

「最高のバッテリー」を目指す、巧と豪。いよいよ県内最強・横手二中の天才スラッガー・門脇、瑞垣らと対決する試合の日が近づいていた。だが、二人は、野球部の前キャプテン・海音寺から、今のままでは門脇に打たれる、と言われてしまう。ピッチャーとして強い自信を持つ巧に、くらくらキャッチャーの豪。それぞれの悩みを抱え、プレイボール!そして、試合は—!?少年たちの想いがぶつかる、感動の完結巻。

「おれのおばさん」 佐川光晴 著

高見陽介、14歳。父が逮捕され、母と離れ離れになったら、未来を拓く「出会い」が降ってきた。児童養護施設に暮らす中学生たちの真っ向勝負の「人生との格闘」、体を張って受け止めるおばさんや大人たちの生きざま…全編を貫く潔さが胸に迫る。



「先生はえらい」 内田樹 著

「先生はえらい」のです。たとえ何ひとつ教えてくれなくても。「えらい」と思いさえすれば学びの道はひらかれる。だれもが幸福になれる、常識やぶりの教育論。



「王様ゲーム」 金沢伸明 著

日本中を襲った悲劇から3ヵ月—北海道各地で腹部を引き裂かれた死体が見つかった。それは、とても人間による犯行とは思えなかった。そして9月19日の深夜0時、人類を嘲うかのような命令が届く—人類による人類への挑戦が始まった!



「さようなら、オレンジ」 岩城けい 著

オーストラリアの田舎町に流れてきたアフリカ難民サリマは、夫に逃げられ、精肉作業場で働きつつ二人の息子を育てている。母語の読み書きすらままならない彼女は、職業訓練学校で英語を学びはじめた。そこには、自分の夢をなかばあきらめ夫について渡豪した日本人女性「ハリネズミ」との出会いが待っていた。第29回太宰治賞受賞作。

「心配事の9割は起こらない」 榎野俊明 著

余計な悩みを抱えないように、他人の価値観に振り回されないように、無駄なものをそぎ落として、限りなくシンプルに生きる。禅僧にして、大学教授、庭園デザイナーとしても活躍する著者がやさしく語りかける「人生のコツ」。



「日本国憲法を口語訳してみたら」 塚田薫 著

憲? 改憲!? その前に…読んだことありますか? 「これなら読める(笑)」「面白い!」と新聞・ラジオ・ネットで大反響!

「ストウブでつくる 毎日のごちそう」 渡辺有子 著

人気の鍋「ストウブ」を使ってつくる、季節の料理80品。秋冬のあたたかなメニューはもちろん、春夏のさわやかなレシピまで、1年を通してストウブが手放せなくなる新定番を紹介。旬の食材のおいしさをギュッととじ込めてくれる、ストウブを使ってみませんか?

